

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	メトロITビジネスカレッジ
設置者名	株式会社メトロコンピュータサービス

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	IoT完全マスター科	夜・通信	-	-	
	IT資格完全マスター科	夜・通信	-	-	
	ITシステムエンジニア科	夜・通信	-	-	
	オフィスIT基礎科	夜・通信	-	-	
	トータルデザイナー科	夜・通信	-	-	
	ITクリエイター科	夜・通信	236~344	160	
(備考) IoT完全マスター科、IT資格完全マスター科、ITシステムエンジニア科、オフィスIT基礎科およびトータルデザイナー科は令和3年度から募集停止					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページにて公表 (http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	メトロITビジネスカレッジ
設置者名	株式会社メトロコンピュータサービス

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校評価委員会
役割	メトロITビジネスカレッジ学校評価実施規程 第10条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聞き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
システム開発会社 代表取締役	2021/04/01～ 2023/03/31	関連業界等関係者 ※学生の就職先
印刷会社 代表取締役	2021/04/01～ 2023/03/31	関連業界等関係者 ※学生の就職先
大学准教授	2021/04/01～ 2023/03/31	教育に関し知見を有する者
システム開発会社 社員	2021/04/01～ 2023/03/31	卒業生
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	メトロITビジネスカレッジ
設置者名	株式会社メトロコンピュータサービス

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>2月末までに翌年度の科目一覧および概要の作成を行い、それに基づいて各科目の詳細授業計画の作成を行う。3月に学校自己評価および学校関係者評価を行う為、その結果を反映させたものを確定版として新学期開始時に学生へ提示する。外部に対しては、確定版を学生への提示と同時期に学校ホームページにて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校ホームページにて公表</p> <p>http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>1) 評価項目 出席・学習態度・理解状況・作品・検定試験結果で評価する ※作品および検定試験結果については任意項目とする</p> <p>2) 評価基準 出席：出席率に応じて5段階評価を行う 授業態度：担当講師の視点による5段階評価 理解状況：課題提出状況およびテスト等による5段階評価 作品：授業での成果物に対する5段階評価 検定試験：合否および試験での得点状況による5段階評価</p> <p>3) 全体評価 評価基準を元に各科目に関する評価を以下の方法で求める スコア＝評価値合計÷(評価項目数×5)×100 ※科目単位およびクラス単位での順位はスコアを基に決定する 算出したスコアを基に各科目の成績(A～F)を決定する A：スコアが80以上 B：スコアが60以上80未満 C：スコアが40以上60未満 D：スコアが21以上40以下 F：スコアが20以下</p> <p>※全学科同一の基準を適用 ※各科目における具体的な評価基準についてはシラバスに記載</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目ごとに評価をスコアとして数値化して算出しており、スコアの平均を半期単位で集計しクラス内の順位を確定させる(前期・後期・通年) ※各科目における具体的な評価基準についてはシラバスに記載し公表する ※各科目終了時点で評価した結果については情報として一元管理し、コンピュータ上で参照して学生指導に活用できるようにしている ※全学科同一の基準を適用 (補足) 前期に試験の行われない科目については、後期分として計算する</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>学校ホームページにて公表 http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>以下の条件を満たす場合に卒業を認める</p> <p>1) 各年度における出席率80%以上 2) 全科目においてD評価以上であること</p> <p>学生の状況については、職員会議にて情報を共有し、卒業認定についても同会議において確定させる。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページにて公表 http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	メトロITビジネスカレッジ
設置者名	株式会社メトロコンピュータサービス

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/
収支計算書又は損益計算書	http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/
財産目録	
事業報告書	http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/
監事による監査報告（書）	http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

a) IoT完全マスター科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IoT完全マスター科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
-	-	-	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
0人		0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
成績評価の基準・方法 （概要）
卒業・進級の認定基準 （概要）
学修支援等 （概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	1人 (10.0%)	8人 (80.0%)	1人 (10.0%)
(主な就職、業界等) 情報処理サービスに関する業務（プログラマー、システムエンジニア）			
(就職指導内容) 学校および㈱メトロコンピュータサービスの就職支援部門の両者による各種支援 （キャリア教育・就職試験対策・ビジネスマナー教育等）を行う			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、Python 3 エンジニア認定基礎試験、 Python 3 エンジニア認定データ分析試験、I o T検定、A I 検定			
（備考）（任意記載事項） 令和3年度から募集停止			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 該当者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、また家庭訪問等による保護者と協力した支援を実施		

b) I T資格完全マスター科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	I T資格完全マスター科	-	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
-	-	-	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
単位時間/単位			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
0人	0人	0人	0人	0人	0人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）

成績評価の基準・方法 (概要)
卒業・進級の認定基準 (概要)
学修支援等 (概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 情報処理サービスに関する業務（プログラマー、システムエンジニア）、製造業			
(就職指導内容) 学校および㈱メトロコンピュータサービスの就職支援部門の両者による各種支援（キャリア教育・就職試験対策・ビジネスマナー教育等）を行う			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、Java プログラミング能力認定試験 Cisco CCENT 試験、Linux 認定試験			
(備考)（任意記載事項） 令和3年度から募集停止			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 該当者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、また家庭訪問等による保護者と協力した支援を実施		

c) ITシステムエンジニア科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ITシステムエンジニア科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
-	-	-	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位	単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
0人		0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
成績評価の基準・方法 （概要）
卒業・進級の認定基準 （概要）
学修支援等 （概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	1人 (6.7%)	13人 (86.7%)	1人 (6.7%)
(主な就職、業界等) 情報処理サービスに関する業務（プログラマー、システムエンジニア）、製造業			
(就職指導内容) 学校および㈱メトロコンピュータサービスの就職支援部門の両者による各種支援 （キャリア教育・就職試験対策・ビジネスマナー教育等）を行う			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験 Javaプログラミング能力認定試験			
(備考)（任意記載事項） 令和3年度から募集停止			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	2人	11.1%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、また家庭訪問等による保護者と協力した支援を実施		

d) オフィス I T 基礎科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	オフィス I T 基礎科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	講義
-	-	-	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位	単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	生徒総定員 数	生徒実員	
0人		0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
成績評価の基準・方法
(概要)
卒業・進級の認定基準
(概要)
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	5人 (62.5%)	2人 (25.0%)
(主な就職、業界等) 営業職、事務職等			
(就職指導内容) 学校および(株)メトロコンピュータサービスの就職支援部門の両者による各種支援 (キャリア教育・就職試験対策・ビジネスマナー教育等)を行う			
(主な学修成果(資格・検定等)) 日商簿記3級、マイクロソフトオフィススペシャリスト試験、秘書検定、 日商PC検定			
(備考) (任意記載事項) 令和3年度から募集停止			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 該当者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、また家庭訪問等による保護者と協力した支援を実施		

e) トータルデザイナー科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	トータルデザイナー科	-	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	講義
-	-	- 単位時間/単位	- 単位時間/単位	- 単位時間/単位	- 単位時間/単位	- 単位時間/単位	
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	生徒総定員 数	生徒実員		
0人	0人	0人	0人	0人	0人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
成績評価の基準・方法 （概要）
卒業・進級の認定基準 （概要）
学修支援等 （概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0.0%)	6人 (66.7%)	3人 (33.3%)
(主な就職、業界等) WEB デザイン、製造職、事務職			
(就職指導内容) 学校および㈱メトロコンピュータサービスの就職支援部門の両者による各種支援 （キャリア教育・就職試験対策・ビジネスマナー教育等）を行う			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定2級、Illustrator クリエイター能力認定試験、 Photoshop クリエイター能力認定試験、Web クリエイター能力認定試験			
(備考)（任意記載事項） 令和3年度から募集停止			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 該当者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、また家庭訪問等による保護者と協力した支援を実施		

f) ITクリエイター科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ITクリエイター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	766~1381 単位時間 /単位	319~934 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,700 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		102人	0人	10人	3人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）ITやビジネススキルの基礎を学習し、選択必修科目・選択科目を設けることで各専攻分野に特化した学習ができる。各自が目指すキャリアプランに応じた科目履修が可能となり、ITを軸にした様々な分野の基礎力・応用力を習得する。
成績評価の基準・方法
（概要）各講座の出席率、授業態度、理解状況（テスト・課題提出等）、検定試験結果で評価し、評価結果を数値化してスコア値を求め、スコア値を基にA～DおよびFの5段階（A：秀、B：優、C：良、D：可、F：不可）で評価する
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：出席率80%以上、かつ、全科目においてD以上の評価であること 卒業：出席率80%以上、かつ、全科目においてD以上の評価であること
学修支援等
（概要）必修の授業は午前で終了するため、必修授業終了後、および土曜日を利用した補習を行い、理解状況が不足する学生に対する支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 学校および(株)メトロコンピュータサービスの就職支援部門の両者による各種支援(キャリア教育・就職試験対策・ビジネスマナー教育等)を行う			
(主な学修成果(資格・検定等)) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験 Javaプログラミング能力認定試験			

(備考) (任意記載事項) 令和3年度新設学科であるため、実績なし ※令和5年3月に最初の卒業生を輩出

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	7人	14.0%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、また家庭訪問等による保護者と協力した支援を実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ITクリエイター科	100,000円	700,000円	350,000円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページにて公表する http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 評価委員 (関連業界関係者2名、教育に関し知見を有するもの1名、卒業生1名) に来校していただき、本校職員および運営会社役員も出席して学校自己評価結果の各項目に関する検討を行い、年度途中に検討事項の実施状況に関する中間評価を行う。ここで出た意見を以後の学校運営およびカリキュラム内容に反映させ、社会のニーズにあった質の高い教育を行う学校にすることを目的とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
システム開発会社 代表取締役	2021/04/01～ 2023/03/31	関連業界等関係者 ※学生の就職先

印刷会社 代表取締役	2021/04/01～ 2023/03/31	関連業界等関係者 ※学生の就職先
大学准教授	2021/04/01～ 2023/03/31	教育に関し知見を有する者
システム開発会社 社員	2021/04/01～ 2023/03/31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページにて公表する http://www.metro.ac.jp/pages/public_info/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス http://www.metro.ac.jp/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	メトロITビジネスカレッジ
設置者名	株式会社メトロコンピュータサービス

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		23人	21人	23人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	13人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				23人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	人	—	—
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	—	後半期	—

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	—	—
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	—	—

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。